第５０回景況調査

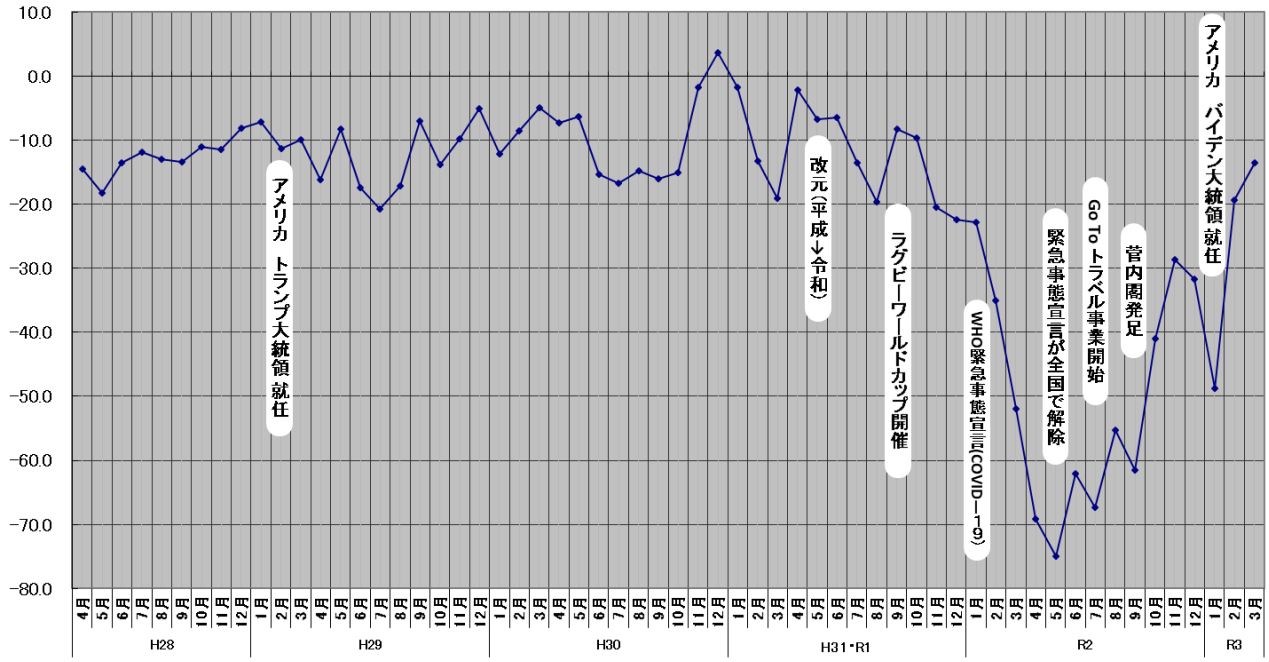
令和３年６月１０日　豊田市産業部商業観光課

１　現状調査及び分析

（１）豊田市業況 DI（豊田商工会議所 LOBO 調査より）［令和３年３月末時点］

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H28	全国	▲ 21.00	▲ 22.80	▲ 24.80	▲ 24.50	▲ 24.90	▲ 27.80	▲ 25.50	▲ 22.90	▲ 21.70	▲ 23.00	▲ 35.3	▲ 20.1
	豊田市	▲ 14.50	▲ 18.20	▲ 13.60	▲ 11.90	▲ 13.00	▲ 13.40	▲ 11.10	▲ 11.43	▲ 8.11	▲ 7.14	▲ 11.3	▲ 9.9
H29	全国	▲ 17.30	▲ 16.20	▲ 14.50	▲ 16.10	▲18.20	▲15.3	▲16.0	▲14.9	▲13.3	▲ 14.40	▲ 17.1	▲ 15.8
	豊田市	▲ 16.20	▲ 8.30	▲ 17.40	▲ 20.70	▲17.2	▲7.0	▲13.8	▲9.8	▲5.1	▲ 12.10	▲ 8.60	▲ 5.00
H30	全国	▲ 11.50	▲ 13.60	▲ 15.40	▲ 16.70	▲ 14.80	▲ 16.00	▲ 16.00	▲ 14.90	▲ 15.70	▲ 16.00	▲ 18.1	▲ 16.9
	豊田市	▲ 7.30	▲ 6.30	▲ 15.40	▲ 16.40	▲ 1.90	▲ 12.10	▲ 15.10	▲ 1.80	3.70	▲ 1.80	▲ 13.30	▲ 19.10
R1	全国	▲ 16.70	▲ 17.10	▲ 18.30	▲ 20.20	▲ 21.00	▲ 20.00	▲ 24.10	▲ 26.80	▲ 29.40	▲ 26.80	▲ 32.6	▲ 49.0
	豊田市	▲ 2.20	▲ 6.70	▲ 6.40	▲ 13.46	▲ 19.61	▲ 8.33	▲ 9.62	▲ 20.41	▲ 22.4	▲ 22.80	▲ 35.00	▲ 51.90
R2	全国	▲ 60.40	▲ 65.80	▲ 62.80	▲ 59.30	▲ 59.00	▲ 56.50	▲ 50.20	▲ 45.80	▲ 46.10	▲ 49.50	▲ 46.80	▲ 35.30
	豊田市	▲ 69.20	▲ 75.00	▲ 62.10	▲ 67.40	▲ 55.30	▲ 61.50	▲ 41.00	▲ 28.60	▲ 31.70	▲ 48.80	▲ 19.40	▲ 13.60

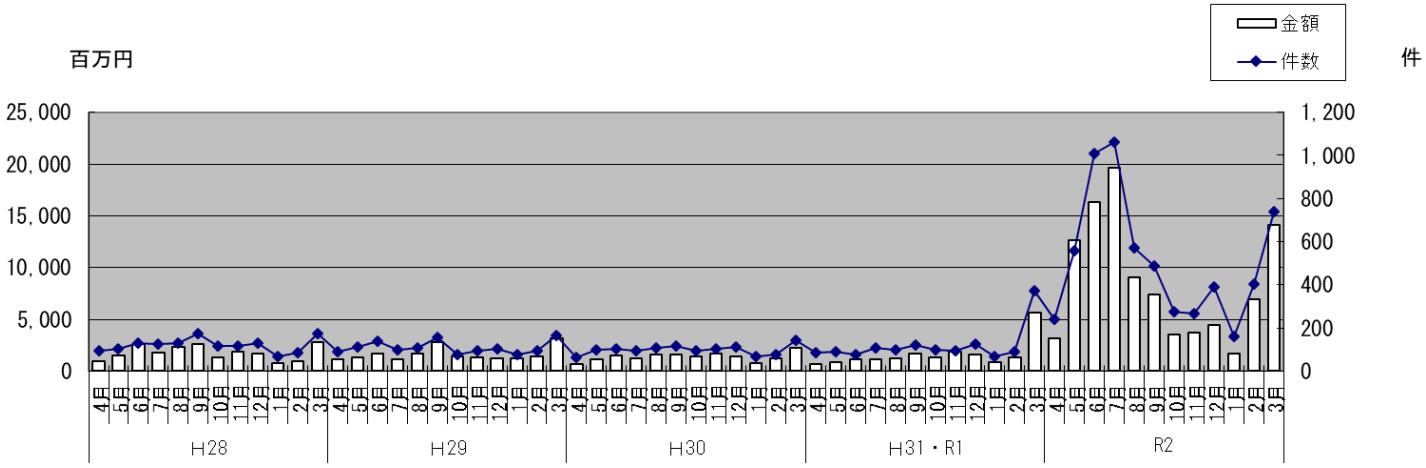
月別推移（過去 10 年間）

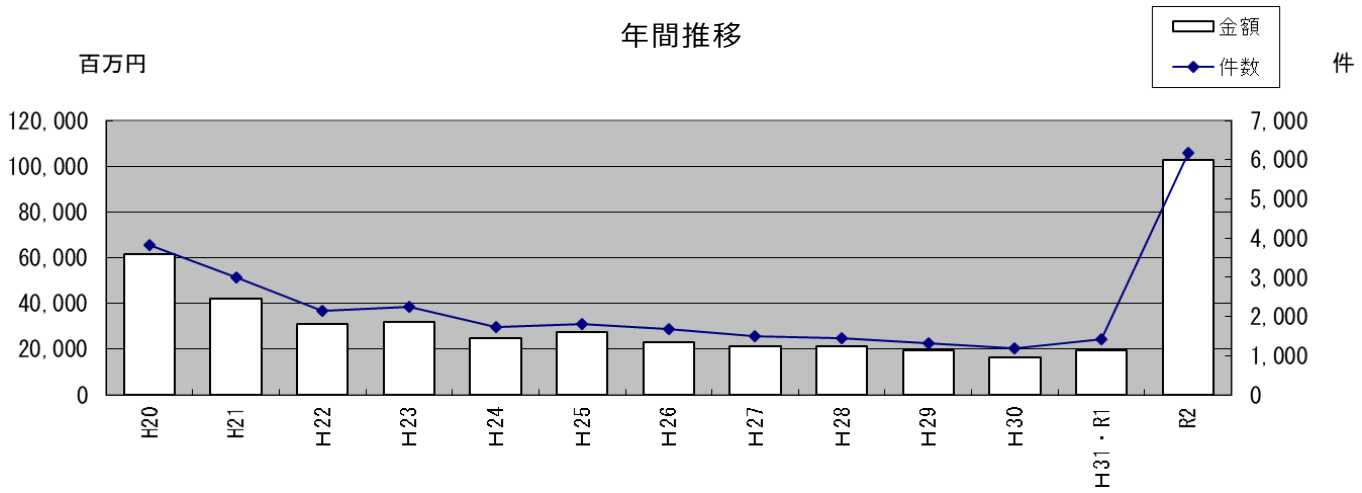


・２度目の緊急事態宣言が発出された令和３年１月、急激に数値が下降したが、数値の下降は一時的であり、翌２月には回復した。

（２）愛知県信用保証協会が保証承諾した市内事業者の融資状況［令和３年３月末時点］

月別推移（過去５年間）



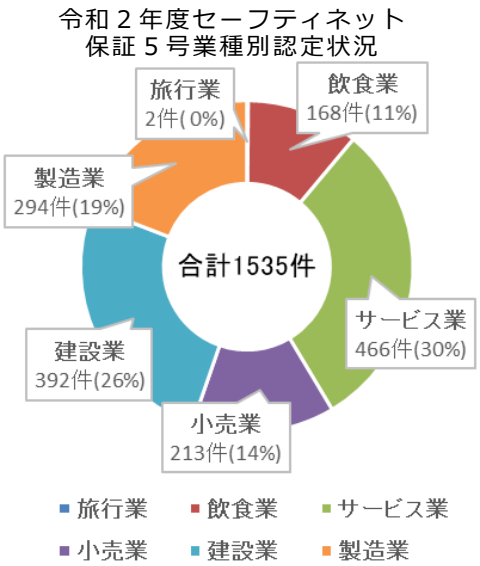


（３）セーフティネット保証５号業種別認定状況［令和３年３月末時点］

年度	建設業	製造業	卸売業	小売業	運送業	その他	計
H29	４件	３件	２件	１件	１件	０件	11 件
H30	１件	０件	０件	０件	１件	２件	４件
R1	０件	３件	０件	０件	０件	１件	４件

※令和２年４月より集計業種を見直し、卸売業は小売業へ、運送業はサービス業へ区分した。

年度	旅行業	飲食業	ｻｰﾋﾞｽ業	小売業	建設業	製造業	計
R2	２件	168 件	466 件	213 件	392 件	294 件	1535 件



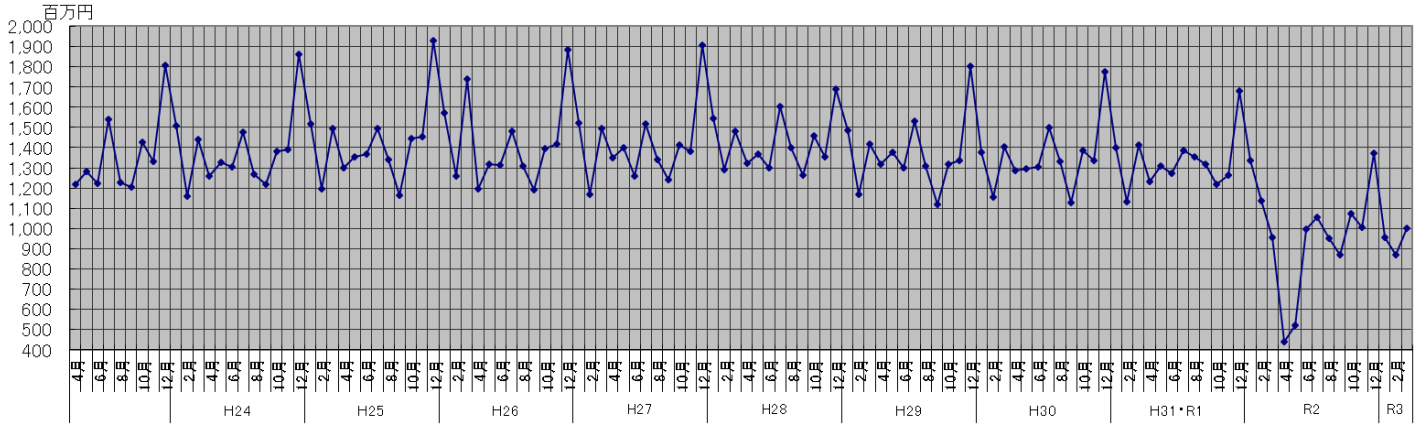
・令和３年３月末時点でのセーフティネット保証５号の業種別認定状況は、第４９回景況調査時と同様サービス業が最も多く、３０％を占めている。令和２年度の認定件数は 1,500 件を超え、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。また、同時点での４号認定は 2,054 件、危機関連保証は 1,891 件となっている。

（４）認定特定創業支援事業による支援を受けた証明書の発行件数［令和３年３月末時点］

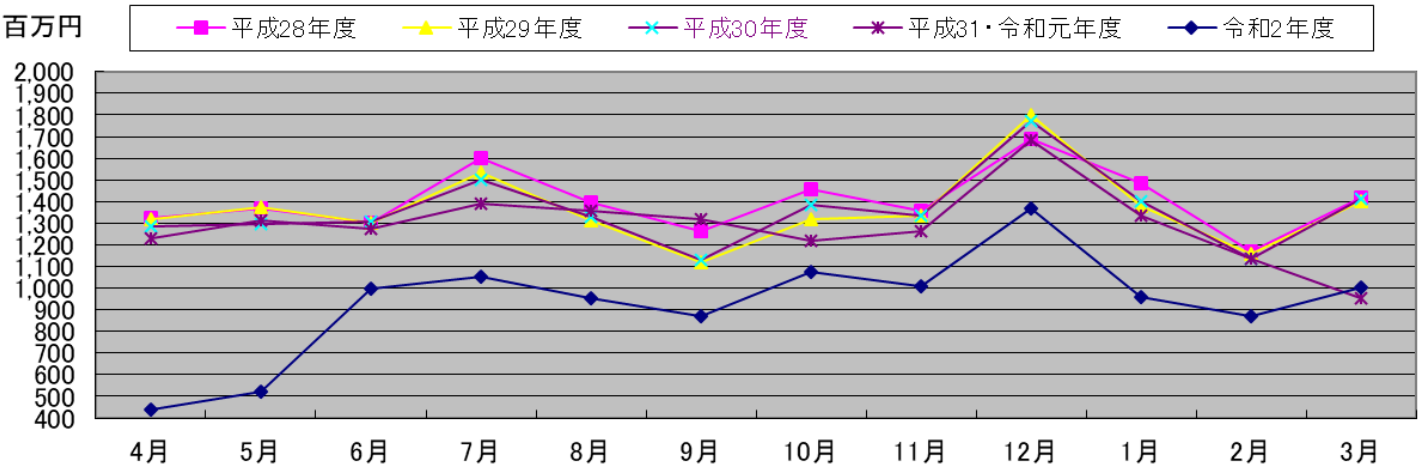
H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
２件	10 件	20 件	33 件	30 件	35 件

（５）大型店の動向（中心市街地大型店４社の売上高の合計）［令和３年３月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



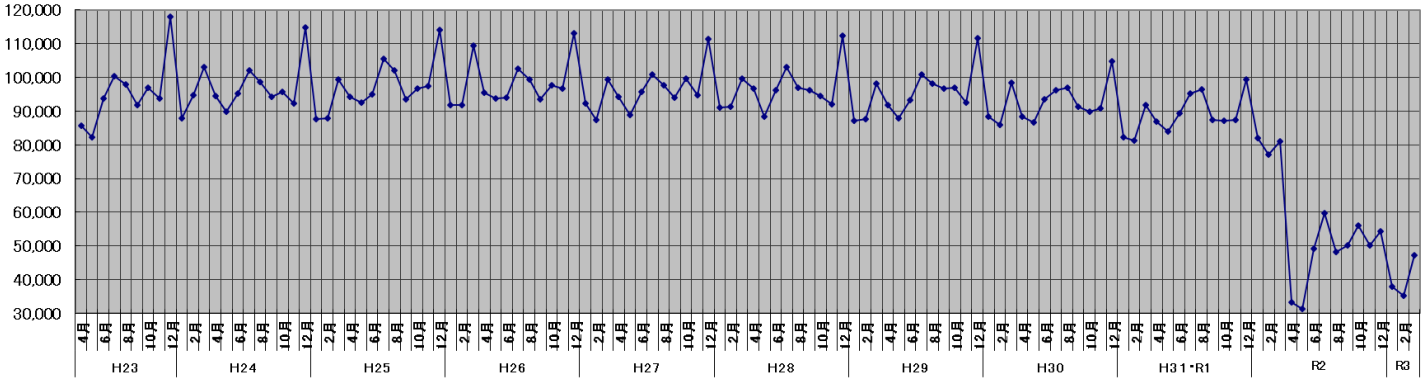
過去５年間における月別推移の比較



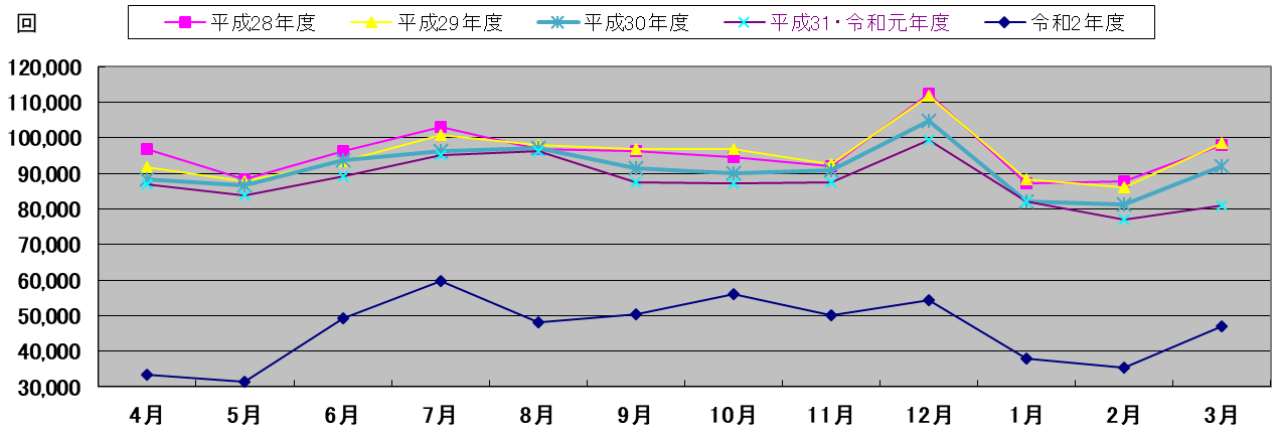
令和２年度… １月(957 百万円)　２月(871 百万円)　３月(1,003 百万円)
となっており、前年比はそれぞれ　１月(71.7%)、２月（76.7%)、３月(104.9%) である。
　未だ例年と比べると、売り上げは低迷している。３月については前年比 100%を超えているが、令和元年度３月は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売り上げが大きく低下したことが要因であり、１月及び２月と同様に低迷している。

（６）タクシー業界の動向（市内輸送回数実績を愛知県タクシー協会からヒアリング）［令和３年３月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



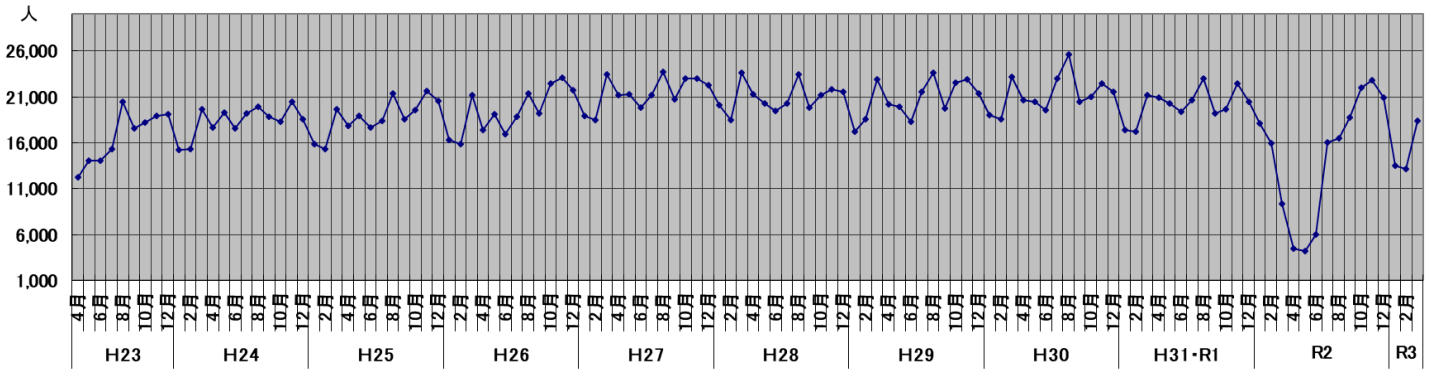
過去５年間における月別推移の比較



・令和２年度… １月(37,865 回)　２月(35,306 回)　３月(47,122 回)
　となっており、前年比はそれぞれ　１月(46.2%)、２月(45.8%)、３月(58.2%) である。
・令和２年度の４月に大幅に運行回数が減少して以降、大きな数値の回復は見られず、未だ大きな影響が出ていることが伺える。

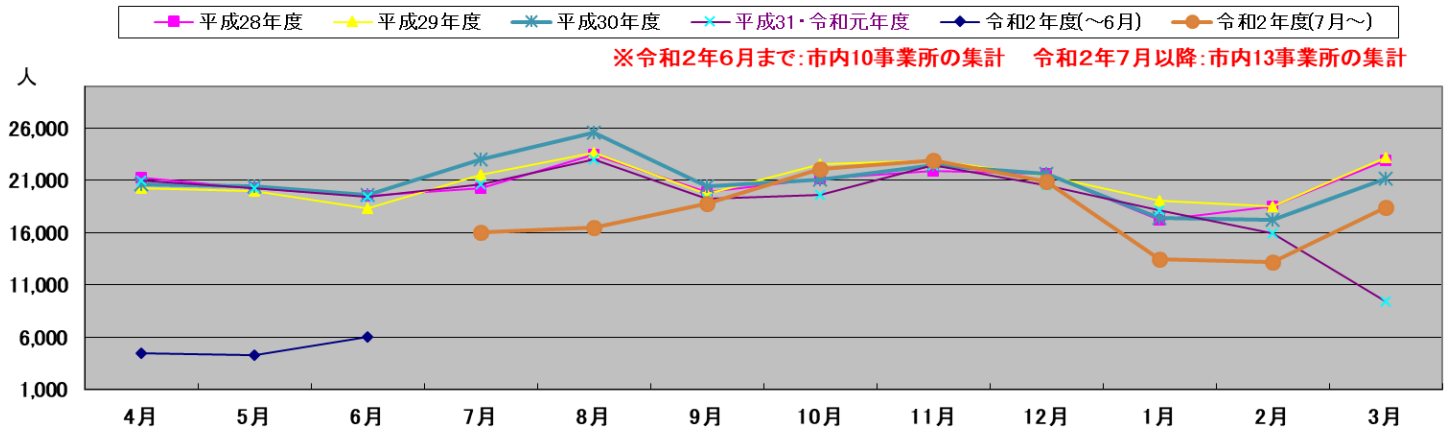
（７）ホテル・旅館業界の動向（市内１３事業所の宿泊者数の合計）［令和３年３月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



※令和2年6月まで:市内10施設の集計　令和2年7月以降:市内13施設の集計

過去５年間における月別推移の比較



・令和２年７月より、宿泊者数調査の対象を１０事業所から１３事業所に変更している。調査対象の変更に伴い､例年数値との比較はできないが､調査対象施設が増加したにも関わらず、１、２、３月と例年を越えない宿泊者数となっていることから、業界全体の宿泊者数は減少しているものと推測される。

２　まとめ

それぞれの調査項目において未だ新型コロナウイルスの影響が伺える中、豊田市における業況ＤＩについては、例年並みの数値への回復が見られた。また、前回調査時と同様、「タクシー業界の動向」において未だ回復のきざしが見えず、特に大きな影響が残っていることが伺える。